

学校教育だより



Narashino Municipal Board of Education

令和5年6月28日 発行
No. 134

発行・編集 習志野市教育委員会
☎ 047-451-1151 (代表)



習志野市ホームページ
学校教育だよりはこちら
からもご覧いただけます

晴れ渡る空 声高らかに

谷津南小学校 (5/27)



校庭に声援が響く
令和5年度
運動会・体育祭

最後の運動会は、全力で取り組む大切さを知りました。みんなをまとめることは難しいけれど、本気で取り組めばその気持ちがいみんなに伝わり、最高の応援や演技になることを学びました。中学校でも全力で頑張ります。(白組団長：松村一翔さん)

運動会はみんなの力を合わせると大きな力になると感じた時間でした。団長や6年生の立場として全員の心をひとつにする難しさや、ひとつのものをつくる準備の大切さを知りました。この経験を活かし、卒業まで頑張ります。(紅組団長：酒井恒輝さん)

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられ、令和5年度の運動会・体育祭では、久しぶりに児童生徒の大きな声援や歓声が校庭に響き渡りました。これまで制限されてきた教育活動は、その必要性を十分に検討したうえで、積極的に実施していくこととなります。市立各小中高等学校では、コロナ前に行っていた様々な行事について、本来の目的や意義を見つめ直し、児童生徒が達成感や充実感を得ることができる、価値ある教育活動が進められています。

本号では運動会・体育祭、鹿野山セカンドスクールなど、児童生徒が主体となって展開された各学校の教育活動を紹介します。(文責 教育総務課 佐藤)

《第 1 3 4 号》
テーマ「アフターコロナの教育活動」
《目 次》

運動会 (谷津南小)	… 1
運動会・体育祭 (二中・香澄小・三中)	… 2
鹿野山セカンドスクール (谷津小)	… 3
日本語指導教室 (袖西小)	… 4
GIGA スクール推進プロジェクト	… 4
教育相談システム STANDBY	… 5
コミュニティ・スクール・地域学校協働本部	… 6
特色ある教育活動紹介～第六中学校～	… 7
習志野高校ニュース・教育長コラム	… 8

スローガン掲げ 心を一つに!!

運動会・体育祭



○児童生徒が自分たちで決めためあてに向かって、力を合わせて競い合いました。



..... 第二中学校 (5/13)

実行委員として、先輩たちが築き上げてきた日本一と呼ばれる体育祭を今年も第二中学校全体で作ることができました。3年間で一番楽しかった体育祭に携われてよかったです。
(体育祭実行委員長：君塚想太さん)

私は雨のおかげで、最高の体育祭になったと思います。びしょ濡れになった自分たちをみて笑いあったり、グラウンド整備を協力して行ったりしたことで、より思い出深い体育祭になりました。
(体育祭実行委員：黒岩梨乃さん)

スローガン

同心協力

～一勝懸命に 全員が主役で
熱中できる体育祭～



..... 香澄小学校 (5/27)

紅組スローガン

太陽のように心を燃やして全力をつくそう!

小学校最後の運動会、紅組は最高でした。とれると信じていた優勝や応援賞は白組がとったけれど、最後まで声がかかるまで応援しました。最高の応援団と最高の紅組を応援出来たことが一番楽しかったです。
(紅組団長：寺田碧海さん)

白組スローガン

全力で取り組み、イナズマのように、光り輝け!

団長になって一番嬉しかったことはみんなを総合優勝と応援賞に導いたことです。6年生が競技をしている時に4・5年生がみんなを盛り上げて応援してくれていました。だからこの結果が出せたのは仲間のおかげだと思いました。
(白組団長：加藤叶志郎さん)



..... 第三中学校 (5/27)

スローガン

百折不撓 ～笑顔輝け!最高の体育祭をもう一度～

全員が楽しかったと思えるような行事にするために、昼休みや放課後に応援団で集まり、どうしたらよいかを考え、とても悩みました。しかし、本番みんなの笑顔が見られたので頑張っってよかったです。
(紅組団長：玉井京友さん)

私は応援団長を通して、一般団員では味わうことができない思いを味わうことができました。体育祭当日は、練習の時よりも全体が盛り上がり一致団結して笑顔と感動が絶えない体育祭にすることができて嬉しかったです。
(青組団長：恩田倅太さん)



鹿野山セカンドスクール

学校では味わえない自然体験！

規律・協同・友愛・奉仕の心を育てる

今年度は小学校4、5、6年生の児童を対象に宿泊での「鹿野山セカンドスクール」を実施しています。豊かな自然環境のもと、友達と寝食を共にし、集団生活を行うことで上記に掲げる四つの社会性を育てていきます。工夫された体験活動を通して、児童の好奇心・探求心も高めています。



谷津小学校 (①4/19~21 ②24~26)

習志野市では体験できない自然に触れられて、とても楽しく、貴重な経験でした。
(6年 佐久間 一希さん)



夜のナイトハイクで、先生がこわい話をしたり、夜の山道を歩いたりするのはドキドキしました。(6年 瓜生 唯乃さん)

火起こし体験をして、「昔はこんな方法を使って火を起こしていたのか。」と思いました。(6年 本間 悠遠さん)



先生方がいろいろな事を教えてくれました。そのおかげで3日間楽しく安全に過ごせました。(6年 青木 桃子さん)

日本語指導教室

みんなによい教育を

袖ヶ浦西小学校

令和5年4月に日本語指導教室を開設しました。日本語を母語としない市内の児童が、日本語能力に応じて、学校生活で日常的に使う日本語を学習しています。漢字やカタカナの習得に伸びが見られ、自分の教室での学習にも自信をもって取り組むことができるようになってきました。

作文などの学習では、児童の伝えたいことを表現するのに適した言葉を指導者が教えることで、さらに言葉の理解が深まっています。
(文責 指導課 真坂)



GIGA スクール推進プロジェクト



令和5年度は

一人一人の児童生徒が「わかる・できる」を実現するタブレット端末の活用

を目指します!

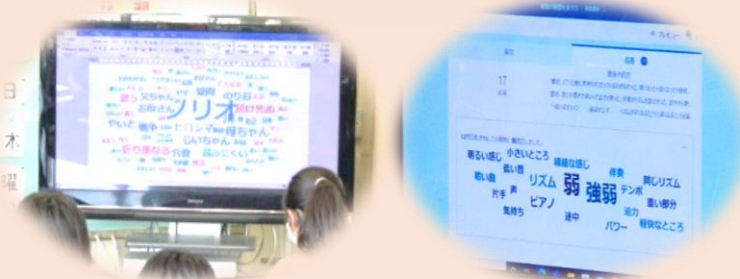
タブレットだからできる!
「きらり」と輝くタブレット端末の活用



具体的には・・・

- ◆ デジタル教科書やAI型デジタルドリルを活用
- ◆ 各教科の特質や学習過程を踏まえた活用
- ◆ 授業のめあてやねらいに応じた活用

活用例①



音楽や国語の授業で、テキストマイニングという、学級全体の意見を集約し、一目で見ることができ機能を活用しています。全体の場や話すことが苦手で意見が言いづらい児童生徒でも、タブレット端末だからこそ、授業の中で自分の意見を反映することができます。個々の意見を正確に集約ことができ、道徳の授業でもよく使われています。また、言葉だけでなく、同時に集計したものをグラフで示すことができます。

活用例②



インターネットからスーパーのチラシを検索し、タブレット上で野菜や果物の写真を切り取り、Teams上のClassnotebookの白地図に貼り付けます。県別に出荷物が明確になり、野菜や果物の分布状況までよくわかるようになります。さらに作成した個人のファイルは、Teams上で共有することができます。

<ICT マイスター 3期生>

学校名	名前	学校名	名前
第一中学校	小野 宏晃	大久保東小学校	千田 優樹
第二中学校	矢島 拓也	袖ヶ浦西小学校	高橋 知実
第三中学校	宮迫 駿	東習志野小学校	渡邊 徹志
第四中学校	川名 純平	袖ヶ浦東小学校	中根 優里
第五中学校	丸山 航輝	屋敷小学校	堂前 憲弘
第六中学校	後藤 卓	藤崎小学校	杉本 峻哉
第七中学校	中川 瞳	実花小学校	川田 竜平
津田沼小学校	稲田 龍之介	向山小学校	相良 健太
大久保小学校	小野寺 伶夢	秋津小学校	日隈 龍哉
谷津小学校	石田 脩土	香澄小学校	平田 裕樹
鷺沼小学校	諸岡 大輝	谷津南小学校	氏家 光一郎
実籾小学校	多部田 剛志	合計	23名

ICT マイスター育成事業

ICT マイスターは、昨年度から始まった取組です。「ICT を効果的に活用した授業改善などに向けた実践・提案を積極的に推進し、各校の中核を担うリーダーの育成」を目指します。今年度も各校から推薦を受けた23名が現在3期生認定をめざし活動しています。今後の学校におけるタブレット端末の活用を、積極的に推進することを期待しています。

(文責 総合教育センター 岩田)

習志野市総合教育センター ～教育相談～

来所相談、訪問相談、メール相談、青少年テレホン相談を行っています。児童生徒、保護者の皆様の心配なこと、不安なこと、それぞれの悩みについて、一緒に考えていきます。



いじめ匿名メール相談 WEB アプリ「STANDBY」

Q. 「STANDBY」とは何ですか？



「友達からいじめられている。」「友達がいじめられている。」など、先生や家族、友達になかなか相談しづらいことを、匿名で（名前を明かさずに）相談することができる WEB アプリです。メールの送信は、24時間可能ですが、相談員からの返信は、平日9時～17時のみです。

「STANDBY」導入授業

「脱いじめ傍観者教育」・「SOS の出し方教育プログラム」について

「STANDBY」を利用できるのは、小学校5年生から中学校3年生です。アプリを使用する前に、小学校5年生は、「脱いじめ傍観者教育」、中学校1年生は、「SOS の出し方教育プログラム」（ホウレンソウ教育）を実施し、いじめを無くすために、また悩みを解消するために何が出来るかということ学びます。その上で、相談窓口の一つとして「STANDBY」を紹介しています。

小学校5年生対象「脱いじめ傍観者教育」

授業の流れ

中学校1年生対象「ホウレンソウ教育」



【動画視聴】

小5 「いじめの傍観者の
立場の主人公」
中1 「いじめられていることを
誰にも相談できない主人公」



【自分の考えを書く】

小5 「自分が主人公の立場だったら
どうするか。」
中1 「主人公は、相談すること
ができるだろうか。」



友達と意見交換



授業の終末では、実際にテスト
メールを送ります。

まとめの場面では、いじめに対する考え方や
生き方のヒントとなるような、動画を視聴しま
した。困った時に STANDBY を活用して助け
を求めてもらえることを願っています。

（文責 総合教育センター 河西）

地域全体が大きな学校になる

学校運営協議会

○習志野市では市内全小中学校・市立習志野高校でコミュニティ・スクールが始まりました。地域学校協働本部連絡協議会も開かれ、令和5年度の各地域での活動計画をたてました。

協育連携



コミュニティ・スクールとは？

学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えて行こうという考えに基づき、各学校に「学校運営協議会」を設置します。設置された学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。

学校(コミュニティ・スクール)

小・中学校
高校に設置



学校運営協議会

- 【構成員】学校・保護者・地域住民 など
【役割】
○学校の目標や課題についての意見交換
○学校の運営方針などを承認し、学校運営に関わる など

委員として参加



地域学校協働推進員

各校1人を委嘱

学校と地域が
目標やビジョン
を共有

地域

小・中学校に
設置



人材・活動などの
コーディネート

地域学校協働本部

- 【構成員】より幅広い層の地域住民・さまざまな団体・企業 など
【役割】
○各教科の学習支援
○本の読み聞かせ ○登下校の見守り活動
○花壇や樹木の環境整備 など

学校運営協議会【各小中学校・習志野高校】

地域学校協働本部連絡会議【5/10開催】



市内全ての小中学校と習志野高校で学校運営協議会が行われています。行事参加や授業参観と共に、協議会では学校運営方針の承認や、教育課程・使用教材などについて紹介され、委員の方々に意見をいただきました。学校はその意見を受け、今後の教育活動に活かしていきます。



分科会では中学校区ごとに分かれて、令和5年度の活動予定についての情報交換を行いました。「できる時に、できる人が、できる事を」という考えのもと、本の読み聞かせ・挨拶運動・花壇整備・登下校の見守りなど、子どもたちのためにできる活動を計画することができました。

子どもの未来、習志野の未来をつくるコミュニティ



習志野市立第六中学校

児童数：527人 教職員数：47人

学級数：19学級

(通常級15、知的特別支援学級1、自閉症・情緒特別支援学級3)



あしたのハーモニーが響くまち
習志野市

リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 18

《学校の歴史》

本校は、昭和53年4月に習志野市立第二中学校から分離し、開校しました。当時は、第二中学校に同居する形でしたが昭和54年1月7日、校舎第一期工事の完了とともに屋敷二丁目に移転し、現在に至ります。



第六中学校の様子

《学校教育目標》 活力あふれる生徒の育成

《学校の特色》

本校は「やまもも」を校木とし、生徒は木々の緑に囲まれた自然豊かな環境のもと、落ち着いた学校生活を送っています。生徒の自己肯定感を高めることが「活力あふれる生徒の姿」につながると捉え、一人一人を大切に「ほめて、認めて、伸ばす」を合言葉に教育活動を進めています。



校木:やまもも

去年は、学力の向上、部活動の躍進と共に、生徒会を中心に「イエローリボン活動」、「あいさつ運動」、「習志野市平和市民代表団として『広島青少年平和の集い』への参加」、「みな友ライブへの参加」、「ウクライナへの募金の呼びかけ



みな友ライブの様子

など、生徒が主体的に取り組み、輝かしい成果を上げました。

また、令和3年度より千葉県「ちばっ子学び変革推進事業」の研究指定校として2年間研究に従事し、「自己肯定感を高める授業づくり」をテーマに公開研究会を実施しました。教師の授業力向上につながるとても良い機会となりました。



公開研究会の様子



体育祭の様子



PTAと生徒の花植えの様子

本校には、令和3年度に千葉県立船橋特別支援学校のサテライト教室が開設され、聞こえの支援が行われています。千葉県立船橋夏見特別支援学校による肢体不自由のある生徒の支援も実施されるなど、充実した特別支援教育の環境が整っています。通常学級及び特別支援学級との積極的な関わりの中で、思いやりの心やコミュニケーション力を養い、豊かな心の醸成につながるよう指導しています。

最後に、今年度は昨年度以上に地域との関わりを大切に、全ての生徒が活躍ができる場をつくり、笑顔と活気のあふれる学校を目指し、誰もが「六中でよかった!」と思える学校にしていきます。

習志野の教育を小中highで連携

習志野高校では、習志野市の教育を広めるために、市内や地域の児童生徒達を対象に「部活動での講習会」を定期的に開催しています。サッカー、体操競技、剣道、柔道、ソフトボール等の様々部活動で交流を深めています。また、市内で開催されている「管楽器講座」が20周年を迎えました。本校の生徒が市内の小中学校の児童生徒に音楽を通じて様々交流を行う予定です。地域との交流ができることは、生徒達にとっても様々な視点で成長する機会であり、成長する過程をお互い感じられる瞬間は、かけがえのない時間であり、その地域の交流を生かして各部活動は、毎日一生懸命練習に取り組んでいます。

春の県予選を勝ち抜いて関東大会に進んだ部活動を紹介します。

○ボクシング部 団体優勝(6年ぶり7回目)

片岡 雷斗 (2年) ライトフライ級 優勝・技能賞

片岡 叶夢 (1年) フライ級 優勝

野口 龍斗 (3年) ライト級 優勝

中崎 太相羅 (2年) ウェルター級 優勝

○柔道部 団体戦 ベスト16

○剣道部 団体戦 ベスト16

○体操競技部(男子) 団体6位

○男子バレーボール部 5位・女子バレーボール部 3位

その他に男子バスケットボール部・空手道部(女子)、ソフトボール部が関東大会に出場しています。

今後も、応援よろしく願いいたします。



管楽器講座 小学生に演奏を教えています



ボクシング部 関東大会優勝表彰式



春の叙勲(教育功労)受章者

政府は4月29日付で2023年春の叙勲受章者を発表しました。習志野の教育に長年貢献されたお二方の教育功労受章が決定しました。この度は誠にありがとうございます。

おめでとうございます!!

瑞宝双光章 受章

元第四中学校校長 柴田 史香 様

元谷津小学校校長 豊島 英夫 様

～好きです ふるさと習志野～

教育長コラム



先日、ある地方都市で研究大会があり、アトラクションにおいて、地元の高校生のステージマーチングショーを拝見する機会がありました。マーチングの盛んな習志野市(自負しています)から参加した私は、「どのような演奏や動きを見せてくれるのだろう?」「本市の生徒の演奏との違いは?」といった気持ちで発表を待ちました。発表が終わると、驚くほど心を動かされている自分自身に気がしました。それは、生徒の演奏の素晴らしさもさることながら、ステージの袖で背筋をピンと伸ばして指揮をされていた先生の姿に、そして、先生に伝えようと真剣な眼差しで演奏する生徒の姿に感動したからです。先生の姿からはあふれるほどの情熱を感じ、生徒と一緒に、日々真剣に練習に取り組まれている姿が目には浮かびました。改めて教育という仕事の尊さと素晴らしさを実感させられました。やはり、指導者の情熱で児童生徒は輝きを増す、だからこそ情熱のある先生が頑張ることのできるような場を作り、サポートしていかなければと意を強くいたしました。一方で、昨今は教員の働き方改革が叫ばれ、仕事の大変さゆえに教職を志す学生が減少している現状があります。本市においても、早急に改善に取り組むべき課題であり、学校任せにせず、教育委員会としてもシステムそのものを変えていく必要性を感じています。その上で、教職という仕事は人に感動を与えることのできる、魅力ある仕事であることを大いにPRし、若い世代に関心をもってもらう必要があります。情熱のある先生が集まり、力を付けることによって、児童生徒の夢を叶える教育が実現するものと考えております。

(教育長 小熊 隆)